

トピックス

製薬協は2011年9月12日～26日に米国サンフランシスコで開催された第9回APEC (Asia Pacific Economic Cooperation、アジア太平洋経済協力) LSIF (Life Science Innovation Forum、生命科学イノベーションフォーラム) 中のRHSC (Regulatory Harmonization Steering Committee、薬事規制調和委員会) 総会とHealth System Innovation Forum and Dialogue (医療制度イノベーションフォーラム対話) に参加しました。

APECについて

APECは、太平洋を取り囲む北米、南米、アジア、オセアニア21の国と地域の経済協力枠組みです。多種多様な国と地域が参加しているため、APECメンバーの国・地域を指す場合には「エコノミー」と呼んでいます。また、世界のおよそ半分のGDP、人口、貿易額を占めており、活発な貿易・投資をエンジンとして世界の成長をリードしています。

また、今回は「APEC 女性と経済サミット」ということで、ヒラリー・クリントン米国国務長官が基調演説を行い、“By increasing women’s participation in the economy and enhancing their efficiency and productivity, we can have a dramatic

impact on the competitiveness and growth of our economies.” (対訳：経済への女性の関与を増加させることにより、効率性と生産性を上げるため、経済成長と競争に大きなインパクトを与えることが可能です)と語ったことで注目を浴びました。

第9回 LSIF, RHSC 総会、Health System Innovation Dialogue

APEC高級実務者会合の一環として9月13日～15日、サンフランシスコで第9回LSIF総会が、9月16日～17日にHealth System Innovation Forum and Dialogueが開催されました。LSIFは2002年10月のメキシコ会議で、APEC地域の公衆衛生の向上とその経済活動の促進を図るために設置が決議さ



LSIF, RHSC 総会 会場風景



Kathleen Sebelius長官



麦谷眞里審議官



渋谷健司教授



Health System Innovation Dialogueの様子

れたもので以後継続して開催されています。

2日間にわたるLSIF, RHSC総会では、これまで議論されてきた、MRCT (Multi-Regional Clinical Trials、多地域共同臨床試験) 3極ワークショップ、医薬品品質サプライチェーン、ファーマコビジランス、バイオシミラー、幹細胞ワークショップ、コンビネーションプロダクトなどのCapacity building¹⁾を中心としたプログラムの評価と優先順位付け等が討議されました。

また、Health System Innovation Dialogueでは、Kathleen Sebelius米国保健社会福祉省長官、William Weldon Johnson & Johnson社CEOに加え、麦谷眞里厚生労働省大臣官房審議官、渋谷健司

東京大学医学部国際保健政策学教室教授が中心となりNCD(非感染性疾患)に関する活発な議論が行われました。

渋谷教授による講演「Investing in health: What has made the population of Japan healthy? (なにが日本人を健康にしたか?)」はworking luncheon(昼食会議)でもあり、日本食の弁当が供され、日本人の食事と長寿、稀NCDの関係などが議論されました。

1) Capacity building…キャパシティ・ビルディング。組織的な能力・基礎体力(キャパシティ)を形成し、向上・構築(ビルディング)していくこと。

(国際部部長 赤坂 光三)